



大林道路(株)

執行役員中国支店長

加藤 久喜氏

「安全はもとより、高ラントで製造することが品質なものを提供し、大でできるフォームドアスファルトのファンを増やしアルト(中温化合材)をていく」と話すのは加藤活用した受注開拓に注力久喜氏。4月1日付で中する」考えを示す。

国支店長に就任した。中 昨年度における中国支店5県が担当エリアにな店の受注比率は、大林組るが、「特に山陽側に力からの受注が大半を占める点置いて営業活動を展たため、官10%に対して開していく」と抱負を述民90%。「今年度は官庁配慮も重要視し、「徳を高め、若手技術者の技術力向上につなげていく。ターゲットとなるの

## 新支店長

は中国地方整備局の発注工事」と意気込み、「表彰獲得を常に念頭に置いて受注拡大を目指す」と力

を込める。

安定した受注環境を構築するためには、民間工

事へのアプローチも必要。「大型工場の駐車場

などで、工期短縮に威力を発揮する高強度アスフ

アルト『タフアスコン』を売り込んでいきたい」

とPRする。昨年10月には地域子会社の『オーク

ロード広島』を設立。「地

域に根差したキメ細やかな営業活動を任せること

ができる」と期待を寄せ、同社との連携を強化

しながら「全店における中国支店のシェアが10%

に届けば」と営業戦略を練る。

支店運営では「風通し

の良い、明るい、働きやすい職場にしてい

く」と力言。時間外労働

は98%まで到達している

上限規制への対応では4週8休の完全取得

が、これを100%にする必要がある」と気を引

き締める。

支店社員には「何事も自分事として考えてもら

いたい」と注文。加え採用を」と要望する。

技術職に対しては「技術力が何よりも大事」

と訴え、技術力向上に向

けては「支店内でも勉強会を定期的に開催してい

く」とも。

技術畑出身で、これまで

で手掛けた仕事では福岡

空港工事事務所副所長

代が特に思い出深い。

「誘導路の改良工事で照

## 強みはフォームドアスファルト 官や民の元請工事の受注拡大を

最後に発注官庁へは

「わが社にはフォームド

装置があるので、地球温

暖化防止や熱中症対策に

も貢献する中温化合材の

採用を」と要望する。

1988年3月に名城

と訴え、技術力向上に向

けては「支店内でも勉強

会を定期的に開催してい

く」とも。

技術畑出身で、これまで

で手掛けた仕事では福岡

空港工事事務所副所長

代が特に思い出深い。

「誘導路の改良工事で照明車の油圧が故障。照明が下りなくなり、高さ制限によって飛行機が着陸できない状況に陥った。1964年5月8日生その対応がとても大変だまれ。愛知県名古屋市出った」と当時を振り返る。